

概要報告

大型菌類に関する分類学能力構築

(1) 開催概要

1. 開催日時：平成 29 年 3 月 1 日～3 日
2. 開催場所：インドネシア・ボゴール（インドネシア科学院）
3. 研修生：ASEAN 諸国 9 カ国から計 20 名
4. 講師（4 名）：
 - ・保坂 健太郎 氏（国立科学博物館・日本）
 - ・服部 力 氏（森林総合研究所・日本）
 - ・Dr. Atik Retnowati（Research Center for Biology Indonesian Institute of Science, Indonesia）
 - ・Dr. Mien A. Rifai（Research Center for Biology Indonesian Institute of Science, Indonesia）

(2) 研修の背景及び目的

東・東南アジア地域は豊かな生物多様性を有するものの、その豊かな生物多様性を保全するために必要な分類学の能力構築が不十分な現状にある。

生物多様性条約（CBD：Convention on Biological Diversity）においても、生物多様性の科学的把握及び保全施策の両面から分類学の能力構築の必要性が議論されているところであり、世界分類学イニシアティブ（GTI：Global Taxonomy Initiative）が打ち出されている。日本は、東・東南アジア地域における生物多様性保全に必要な東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ（ESABII：East and Southeast Asia Biodiversity Information Initiative）を推進し、平成 22 年度以降、植物、鳥類、魚類、サンゴ等の分類学に関する研修を実施してきた。

本業務では、以下の通り大型菌類の分類学能力構築のための研修を開催し、東・東南アジア地域において、アセアン各国及び ESABII ネットワークにおける分類学の更なる能力構築に資することを目的とする。

- ・大型菌類に関する分類学の能力構築
- ・フィールド研修（ボゴール植物園）における大型菌類などの観察、記録、サンプル収集等
- ・大型菌類の標本の作成方法や扱い方及び管理技術の習得
- ・インドネシア科学院（LIPI）の研究者等との交流
- ・大型菌類に関する研究を促進するため、分類学に関する研究者を増員するための

プラットフォームの提供

- ・先進の分類法、研究法の理解

1 日目

- ・開会式

フィリピン大学及び ACB 科学諮問委員の Edwino Fernando 氏が司会進行を務め、開会式が行われた。

冒頭、インドネシア環境森林省生物多様性保全課長の Bambang Dahono Adji 氏より開会の挨拶があり、続いて、本研修の主催者として環境省の廣澤一氏が研修関係者への謝辞、本研修の意義及び研修成果に対する期待を述べた。また、本研修のホストである LIPI の Joeni Rahajoe 氏から研修開催に対する謝辞とともに LIPI の紹介を行った。加えて、事務局を務める ACB の Filiberto Pollisco 氏が、ASEAN 各国における分類学能力構築の必要性、分類学に関する情報の不足などの研修背景について説明し、本研修の意義を強調した。

- ・講義

環境省の平野美澄氏が ESABII の取組及び最新情報などを紹介し、次にビデオ講演にて、国立科学博物館の細矢剛氏による GBIF の取組紹介がなされた。LIPI の Mien A. Rifai 氏からは、菌類学の理論的および技術的な部分について紹介があり、東南アジアにおける菌類学の重要性及びインドネシアなどの現地での状況が説明された。その後、LIPI の実験室や標本室の見学ツアーを実施した。

午後には、森林総合研究所の服部力氏による多孔菌目 (Polyporales) の分類、形態、生態などについての講義があり、続いて、国立科学博物館の保坂健太郎氏による大型菌類に関する最新の分類法や研究法、事例研究を取り上げた具体的な説明があった。加えて、LIPI の Atik Retnowati 氏の講義では、サンプルの採集から標本の作成、取扱方法、管理技術等に関する説明がなされた。

2 日目

- ・フィールド研修及び実習

午前中はフィールド研修をボゴール植物園で実施し、2 グループに分かれ、講師による収集・撮影の実演とともに、研修生がサンプルを採集した。

その後、LIPI の実験室にサンプルを持ち帰り、5 グループに分かれ、顕微鏡で孢子や菌糸を観察するとともに、菌類の同定及び標本作成の演習を行った。

3 日目

- ・研修生によるグループ発表

ボゴール植物園で収集したサンプルの記録、同定、標本作成に関する発表を 5 グループ

から行い、講師の服部氏、保坂氏、Atik 氏からは各グループの発表内容及び同定結果に対するコメントが寄せられた。

・閉会式

閉会式では、ESABII メンバー代表として LIPI の Dedy 氏より、このような研修機会を利用したネットワーク構築の重要性が強調され、同じく LIPI の Enny 氏及び Witjaksono 氏からも同様の発言があった。また、ACB の Pollisco 氏からは、分類学者の交流拡大や分類学能力のさらなる向上に関する期待とともに、参加者への謝辞が述べられた。

